

科目名	教職実践演習(中・高)【社福】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	西村 喜文・松田 次生・青木 研作・松尾 正幸						
開講年次	4	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本演習は、これまでの教職課程科目の履修を通して学んだことや教育実習において経験したことのふりかえりを通じて、教員として最小限必要な資質能力が身に付いているかを確認することをねらいとする。各回の授業では、思春期生徒の理解、学級経営、教科の指導力、生徒指導などのテーマについて、講義だけでなくグループ討論やロールプレイングを取り入れ、学生の知識技能や資質能力を確認する。また、将来教員となる上で、学生一人一人にとって何が課題であるかを自覚させ、その課題を克服できるように指導することにより、教員としての資質能力の向上を図る。						
授 業 の 到 達 目 標	本演習の到達目標は、以下の通りである。 1) 使命感・責任感・教育的愛情 教育に対する使命感や情熱を持ち、生徒の成長・安全・健康を第一に考え、適切に行動することができる基礎的な資質能力を有している。 2) 社会性・対人関係能力 社会・組織の一員としての自覚を持ち、他の教職員と協力して校務を遂行し、保護者や地域の関係者と良好な人間関係を築くことができる基礎的な資質能力を有している。 3) 生徒理解・学級経営 生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解した上で、規律ある学級経営を行う基礎的な資質能力を有している。 4) 生徒に対する教科及び教科外の指導力 学習指導の基本的事項(教科等の知識や技能など)と授業を行う上での基本的な表現力(板書、話し方、表情など)を身に付け、生徒の反応や学習の定着状況に応じて、授業展開や学習形態等を工夫することができるとともに、教科外の活動においても生徒に対して適切な指導を行うことのできる基礎的な資質能力を有している。						
学習方法	講師による講話受講 グループディスカッション ロールプレイング						
テキスト及び参考書等	授業時間ごとに資料配布						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	◎		○			20
宿題・授業外レポート							
授業態度			◎				20
受講者の発表	○	○	○	◎			40
授業への参加度	○	○	◎				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	ガイダンス(授業の進め方の説明、これまでの学修の振り返り)						
第 2 週	教職の意義と教員の役割						
第 3 週	生徒理解と心の支援①～思春期生徒の発達論的理解～						
第 4 週	生徒理解と心の支援②～思春期生徒への心理的支援方法～						
第 5 週	学校経営:校務分掌からみる学校経営						
第 6 週	学級経営:共通課題の解決と啓発を図る学級経営						
第 7 週	教科の指導力①:指導計画と指導技術の振り返り						
第 8 週	教科の指導力②:指導技術の振り返り						
第 9 週	生徒指導:いじめ・不登校の現状と対応						
第 10 週	特別活動の指導						
第 11 週	特別な支援を必要とする生徒への関わり						
第 12 週	保護者・地域との関わり						
第 13 週	教育現場の状況理解①						
第 14 週	教育現場の状況理解②						
第 15 週	教員として必要な資質能力の確認、まとめ						
第 16 週							
備 考	本演習は現職の教員を講師に迎えた授業を設ける予定です。そのため、授業計画に示したスケジュールはあくまでも予定であり、多少変更が生じることがあります。 評価の詳細については、授業開始時に説明します。						